

アキュラホーム 広島県内での住宅供給を本格スタート

“心地いい暮らし”を追求した 廿日市市さくらす展示場

「日本の住まいを安くする」をミッションに住宅の適正価格化に挑戦するアキュラホーム(本社:埼玉県さいたま市、社長:宮沢俊哉)は、9月2日(土)に広島県廿日市市の住宅展示場「さくらす」に、全国で29ヶ所目となるモデルハウスをオープンいたしました。広島県内での総合住宅展示場への出店はこれが初めてです。

中国地区で初登場

アキュラホームは「朝日住宅展示場さくらす」において展示場を拠点とする販売活動を開始いたしました。廿日市木材港を臨むこの展示場は、県内はもとより山口県からも来場者のある人気の総合住宅展示場です。これにより、関東、東海、関西地区に続いて中国地区の山口県東部までアキュラホームの住まいづくりの範囲が広がりました。



写真データは下記URLよりダウンロードできます
URL : <http://www.aqura.co.jp/news.html>

自然の風の心地良さを楽しむ最新のモデルハウス

今回のモデルハウスは次世代省エネ住宅です。次世代省エネ住宅は高い気密性と断熱性を基本性能としていますので、内部空間を自由に広々と設計できることが特徴です。ここでは建物全体の内部温度差が少ないことを利用した吹き抜けのある広いリビングや、子供が小さい時には広々と子供部屋をつくり、将来は間仕切ることができる間取りの提案などが盛り込まれています。さらに、その特徴を活用すべく、大きなインナーテラスと全開サッシ、吹き抜け上部にあるロフトに取り付けられた換気口をかねたトップライトが機能します。大きなリビングとインナーテラスは両側の全開サッシを開けることで横に直線的に風が通り抜ける開放的な間取りとなっています。また、リビングから吹き抜けを通過して二階、ロフト、開放できるトップライトと縦にも風が抜ける設計となっています。このモデルハウスは次世代省エネ住宅でありながら、自然の風の心地よさを十分に楽しむ提案をしています。

生活にゆとりを生む工夫が随所に

主婦の使い勝手を優先したキッチン裏収納や、便利なシューズクローク、地震時の家具転倒対策となるウォークインクローゼットなど、すっきり片付いた生活空間も提案します。また、和室の床の間には縦型のガラスをはめ込むことで、四季を彩る庭の樹木を鑑賞できる和みの空間としています。外観は日射遮蔽の役割を果たすアルコーブデザインが特長の、美しさと資産価値を実現するデザインコードを駆使した郊外型住宅です。構造は品確法の規定する耐震等級3(最高等級)をクリアする高耐震住宅「新世代ハウス」です。

写真データは下記URLよりダウンロードすることができます。

URL : <http://www.aqura.co.jp/news.html>

<本件について報道関係からのお問い合わせ先>

株式会社 アキュラホーム 広報課 堀越 Email : horikosi@aqura.co.jp

TEL : 048-631-3020 (ダイヤルイン) FAX : 048-631-2334

消費者からのお問い合わせ先に関しましては下記の記載をお願いいたします。

アキュラホームさくらす展示場 広島県廿日市市木材港北8-63 TEL:0829-34-3011

アキュラホーム

「日本の住まいを安くする」事をミッションとした木造住宅供給に取り組んでいるビルダー。住宅事業の中で培った経験や技術力を活かして住宅建築合理化システム「アキュラシステム」を開発し、これを駆逐することでお客様本位の高品質でありながら坪 30 万円以下で建築可能な注文住宅を提供し続け、業界をリードしています。また、全国の地域ビルダー・工務店約 631 社によるネットワーク「JAHBnet(ジャープネット)」（旧アキュラネット）を主宰し、そのスケールメリットを活用して、高品質ながら低価格の住宅の開発と全国展開、さらに保証などの安心の制度を導入しています。特に、2001 年に坪 21 万円からというローコスト住宅「M21」で話題になって以来、高気密高断熱（次世代省エネ）住宅、太陽光発電搭載住宅、オール電化住宅、などを相次いで坪 30 万円以下で発売し話題を集めました。こうした全国工務店の活性化につながる活動は、国や官庁、地方公共団体からも注目され、経済産業省における「次世代省エネ住宅普及ビジネスモデル」の参考とされました。また、2005 年 10 月には自らの IT 活用に加え、遅れているといわれる住宅建設業界での IT 活用の普及に顕著な貢献があったということで「経済産業大臣表彰」を受章しました。最近では東京都による「住宅価格 3 割引き下げ実証実験」で圧倒的な低価格提案（他提案が 2/3 に引下げるなか 1/2 の価格を提案）をもって事業予定者に選定されています。

耐震性に優れた新世代ハウス

アキュラホームの家は耐震実大実験（2005 年 3 月実施）によって震度 7 クラスの地震に 3 回被災させてもほとんど損傷しないことが実証された「新世代ハウス」です。「新世代ハウス」は旧建設省が開発し、(財)日本住宅・木材技術センターにより認定された木造住宅供給支援システムによる高品質な住宅です。性能面では品確法に対応、住宅性能表示制度において主要 6 項目（倒壊防止、損傷防止、耐風、劣化対策、維持管理、空気環境）で最高ランクを満たしており、保証面においても施工前の全棟地盤調査の実施、施工中での第三者機関による工事検査、さらには引渡し後の定期的アフターメンテナンスや財団法人住宅保証機構による 10 年間の性能保証や地盤保証などが盛り込まれています。

デザインコード

住宅に限らず形あるものの美しさには一定の法則性があることに着目し、それを住宅設計の場面で活用できるようアキュラホームがコード（原則）化したものです。

デザインコードは 2006 年春からジャープネット会員工務店で運用を開始しました。これにより地域工務店の課題とされていたデザイン力が飛躍的に向上し、高額な住宅でなくても美しく資産価値の高い住宅が提供できるようになり社会資本の充実に貢献できます。

アルコーブデザイン

上下、左右にくぼみや凹凸をつけていくことで、光の陰影を創出し、深みを出していくと同時に、日射の量をカットして内部の温度環境を調節する効果を持つデザイン。

<アキュラホーム会社概要>

社名	株式会社アキュラホーム
代表取締役社長	宮沢俊哉
所在地	埼玉県さいたま市大宮区桜木町 1-10-16 シーノ大宮ノースウイング 15 階
電話	048-631-2333 (代)
創業	1978 (昭和 53) 年 9 月
資本金	9,314 万円
従業員数	452 名(06 年 4 月 1 日現在)
事業	建築工事・設計施工・販売、住宅総合研究・開発・コンサルティング
売上高	159 億円(06 年 2 月期)
ホームページ	http://www.aqura.co.jp